

出雲崎町

No.510

令和元年11月7日発行

編集：出雲崎町公民館

TEL 0258-78-2250

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

公民館だより 11月号



～文化・芸術の祭典～
生涯学習フェスティバル

11月3日の「文化の日」にあわせて、11月2日（土）、3日（日・祝）の2日間、中央公民館および町民体育館において「生涯学習フェスティバル」を開催しました。今年も日頃の練習の成果を披露すべく、各種団体から「ステージ発表」、絵画や手芸等の「作品展示」のほか、「健康づくり」「交通・防災」といったブースが設けられました。盛りだくさんの内容に、1000人の来場者が訪れ、賑わいました。また来年も、皆さまのご来場をお待ちしております！

「良寛と相馬御風展」11/15(金)まで開催中!!

糸魚川市出身で思想家、歌人、随筆家、書道家として活躍した相馬御風。御風が新潟の文化人として親しまれたのは、出雲崎町郷土史家の佐藤吉太郎（耐雪翁）と伴に良寛に私淑し、良寛研究を深めたことが大きいと伝えられています。来年は、御風の没後七十周年を迎えます。良寛記念館では、糸魚川市相馬御風館のご協力のもと、御風の和歌作品やコレクションを展示しています。まだご覧になっていない方は、ぜひお越しください。

◀伝亀田鵬斎画・良寛賛『良寛と子どもたちの図』

出雲崎に来杖し、良寛の友人でもあった亀田鵬斎の画と伝わる良寛と子どもの絵に、良寛が画賛を書いた合作。糸魚川市指定文化財。



「第29回 奥の細道天の河俳句大会」が開催されました!!

10月18日(金)、中央公民館講堂において「第29回奥の細道天の河俳句大会」が開催されました。今年は松尾芭蕉が「奥の細道紀行」をしてから、330年になります。県内外、202名の方から906句の応募が集まり、兼題の部では、町内からは本間加津さんの「**運筆の静かに止まる夜半の秋**」が19位に輝きました!

また、席題の部では、出席者61名、投句数122句。「**葡萄**」「**秋時雨**」で2句投句、町内からは仲野隆之さんの「**野ぶどうや奇岩の多き浦の道**」が5位に、小林一輝さんの「**良寛の軌跡を歩き秋時雨**」が9位に入賞しました。おめでとうございます!

来年もたくさんのご応募をお待ちしております。

奥の細道天の河俳句大会



若井 新一氏による講演
「困ったら芭蕉の教え」

今月の事業案内

日時	内容	ところ・講師
11月16日(土)~12月20日(金) 11月17日(日)14:00~16:00	第2回「金澤翔子展」席上揮毫「天上大風」 初公開記念 茶席・雅楽演奏	良寛記念館
11月21日(木) 19:00~20:30 (18:30~受付)	出雲崎小・中学校合同学校保健委員会講演会 「健康な生活と睡眠の大切さ」	中央公民館 新潟医療福祉大学健康科学部 健康スポーツ学科 准教授 杉崎 弘周
11月22日(金) 13:30~15:00	出雲崎総合大学 日常生活の化学と食品	中央公民館 町教育委員会管理指導主事 高畑 秀紀
12月9日(月) 13:30~15:00	出雲崎総合大学 「昔の姿を伝える大切さ ~忘れかけていた思い出が甦る~」	中央公民館 町文化財調査審議委員 佐々木 高史



図書館だより



【中央公民館】

【町立図書館(海岸公民館)】



ランチ酒/祥伝社…原田 ひ香 著

夜から朝までひたすら人やものを見守る〈見守り屋〉の犬森祥子。彼女の唯一の贅沢は、夜勤明けの晩酌ならぬ「ランチ酒」で…。疲れた心に沁みる人間ドラマ×絶品グルメ。WEB マガジン『コフレ』連載を加筆・訂正。



緋色のマドンナ/ポプラ社…那須田 淳

戦後の混乱期、焼き物の里・信楽に絵を描くことが大好きな少女がいた。陶芸家への夢を膨らませるが、窯元をまわっても「女には無理や」と断られてばかりで…。朝ドラ「スカーレット」のモデル、神山清子の情熱的な人生の物語。



銀の匙/朝日出版社…中 勘助 著、安野 光雅 絵

古い茶箆筒の抽匣から銀の匙を見つけたことから始まる、伯母の愛情に包まれて過ごした幼少期の日々…。中勘助の自伝的作品に、安野光雅が子どもの内面世界を情感豊かに描いた美しい絵を添える。



色彩/筑摩書房…阿佐 元明 著

プロボクサーの道をあきらめ、塗装会社で働く千秋。それなりに充実した日々を送るが、美術の専門学校を出た新人が入ってきた。周囲に好意的に見守られる彼に違和感をぬぐえない千秋。嫉妬とも違うその違和感の正体とは…。



作品創造の想い

立冬も間近であるが、秋も深まり、紅葉や黄葉で美しく彩られる様を表現した、「山粧(よそお)う」時季を迎えている。四季の中でも「秋」は自然・食・物・芸術、文化等々が多彩で豊かなためか、人の心揺さぶられる、特異ともいえる季節である。今年には初秋の頃から風雨に悩まされた。小春日和の日は貴重で、心も温もる。

11月初旬、『生涯学習フェスティバル』が開催され、心なませてもらった。この催しは、身近な人が出演することもあり、町民の関心も高い。

子ども達も含め、今年も各演技に日頃から取り組み、心身とも充実した素晴らしい演技が披露された。これは、作品展の方も同様である。茶道も毎年好評で、日本文化の落ち着いた空気が会場に漂う。出演・出品された方々を始め、関係者各位に改めて御礼を申し上げたい。

そして、『アジア至高の技』として今展示されている『正倉院の世界』展(東京国立博物館)を鑑賞した。1260年以上にわたって約九千件の宝物を守り伝えてきた「正倉院」。日本古来の文物やシルクロード、中国・唐・東南アジアから伝わり、聖武天皇・光明皇后ゆかりの品々が輝いていた。



公民館長 佐藤 亨

中でも、8世紀・唐時代に作られ、世界で唯一現存する「螺鈿紫檀五弦琵琶(らでんしたんのごげんびわ)(写真)」(1300年前にあったインド起源の五弦琵琶)の背面は、ウミガメの甲羅や光沢を放つ貝殻の内部(螺鈿)で装飾が施された、華やかで素晴らしい芸術作品である。



弦のある表面は、ラクダに乗って琵琶を弾く人物が螺鈿で描かれ、シルクロードの雰囲気が見て取れる。鑑賞に行かれた方もおありと思うが、紙面の都合で他の宝物が紹介できないのは残念である。

その日は、20分程度の待ち時間で入場できたが、人々の関心は高く、6つの章で構成されている各展示室は混雑していた。

いづれにしても、町フェスティバルでの出演・作品展しかり、飛鳥・奈良時代の国際色豊かな正倉院宝物しかりで、『作品創造の想い』は時を経ても、国を隔てても変わるものでない。事の大小は異なっても、良いものを作り上げようとする「ひた向きな努力、強い意志、留まることのない向上心」に賛辞を送りたいものである。

今月の一句

〈越後出雲崎 渚会〉

前掛けに広きポケットきこの狩

乙 茂 金泉 今日子

女郎花替女の墓石に折れかかり

大門 磯部 游子

〈西乃越句会〉

団栗の落つるや墓へ続く道

てまり団地 本間 加津

神事終へ老爽やかに酌み交す

川西 仲野 隆之

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

秋の夜元気に歌うスズムシさん

4年生 小林 愛瑠

草叢で虫の合唱なりひびく

4年生 平沢 龍聖

秋の海なみがしずかでおちつくな

5年生 枝元 一華

まん月にちよつとでこの手とどきそう

5年生 本多 心美

かき熟すいろあざやかな宝石だ

6年生 山田 聖矢

赤リンゴタ日みたいでキレイだな

6年生 高橋 優芽



第4回町民卓球大会参加者募集!!



昨年の大会の様子



昨年優勝の『いずも THE KING』の皆さん

今年度も町教育委員会は町民卓球大会を下記の通り開催いたします。冬の運動不足になりがちな季節に地域の方、ご家族、お友達と一緒に卓球で汗を流しませんか？皆様のご参加をお待ちしております!!

- 1、日 時 令和元年 12月8日（日）午前9時～町民体育館
- 2、種 目 卓球（ダブルス）
- 3、参 加 1チーム3～8人 ダブルス3組による団体戦
 - ・選手の同一試合出場は2試合までOK
 - ・女性、小学生、70歳以上の男性いずれか1人以上
- 4、申込み 行政区長、地域スポーツクラブ代表、または町民体育館へ
11月29日（金）までにお申し込みください。



小木ノ城Bが激戦制す!!～第38回町内ゲートボール大会～



10月15日（火）、第38回町内ゲートボール大会を開催しました。町内から8チームが参加した今大会では優勝を目指して白熱した頭脳戦が繰り広げられました。

決勝戦では最後までどちらが勝つかわからない接戦となり、プレーごとに歓声が上がると、見事小木ノ城Bチームが優勝を手に入れました。



優勝した『小木ノ城Bチーム』の皆さん

☆優勝☆小木ノ城B ○準優勝○小木ノ城A
◇第3位◇ 天領A、西越B

11月の「トレーニング教室」日程

11/13、20、27 毎週水曜日 19:30～21:00